

壁紙シェルフ



	リスト	個数	備考
材料	<input type="checkbox"/> SPF 1×4材 300mm	2枚	側板
	<input type="checkbox"/> SPF 1×4材 195mm	3枚	天板・棚板・底板
	<input type="checkbox"/> ダボ栓 または 丸棒 φ8	15cm程度	
	<input type="checkbox"/> ベニヤ 3×230×295mm	1枚	シェルフ全体より一回り小さく
	<input type="checkbox"/> 壁紙 230×295mm	1枚	
	<input type="checkbox"/> 塗料		お好みでお選びください
道具	<input type="checkbox"/> 電動ドリルドライバー		
	<input type="checkbox"/> 下穴用錐ビット		2.5mmなど
	<input type="checkbox"/> ダボ錐ビット		φ8
	<input type="checkbox"/> プラスビット		#2
	<input type="checkbox"/> ダボ切り用のこぎり		
	<input type="checkbox"/> ねじ 30mm	12本	#1 (木用ネジなど、柔らかい素材は#1)
	<input type="checkbox"/> かなづち		
	<input type="checkbox"/> 釘 ~20mm程度	8本	四隅のみ釘、残りはタッカーでもOK
	<input type="checkbox"/> クランプ	2本	
	<input type="checkbox"/>		
その他	<input type="checkbox"/> マスキングテープ 幅18mm		
	<input type="checkbox"/> カッター		はみ出た壁紙カット用
	<input type="checkbox"/> サシガネ		位置の確認など
	<input type="checkbox"/> 木工用接着剤		
	<input type="checkbox"/> かな		修正用



棚作りの基本です



Point!

手順

- ① 側板 2 枚を並べて、天板・棚板・底板の位置にマステ(幅 18 mm)を貼る
 - ・端から 15 cm (または、希望の位置) にサシガネで線を書き、その線がテープの中心にくるよう マステを貼る。



- ② マステのまま、下穴用錐で穴を開ける
- ③ 板を裏返し、先ほど空けた下穴を活用してダボ穴を開ける
 - ・こっちの方がネジを真っ直ぐ取り付けやすい
- ④ ダボ穴を開けたら、ネジ立てをしておくとの作業が楽
 - ・ネジの先端が出ることに拘らなくてもいい、出なくても大丈夫
- ⑤ 組み立て
 - (1) コの字 → E の字 → 日の字 → へと進化
 - (2) ダボ埋め
 - ・丸棒は持たない
 - ・棚をクランプで固定すると、作業効率アップ
 - ・鋸の刃は必ず奥へ
 - ・棚板の面に段差があったら、鉋で修正
 - (3) 塗装 → 乾燥
 - (4) 背板に壁紙を貼る
 - (5) 背板を打ちつける

MEMO

- 電動ドリルドライバーについて
 - ・穴あけ作業は“ドリルマーク”にセッティング

- 回転数はほぼ調整無しで大丈夫=2
- トルクは5~7 (今回は厚 18 mmに穴を空けていて、実質 10 mmの厚さしかないから)
- 正転、逆転、ロックの状態を確認しておく
- ビット交換時はロックにする癖をつける
- ネジとビットが、かみ合ってからスイッチ ON
- ネジと電動ドリルドライバーのビットが延長線上に来るようにすると、カムアウトしにくい

●さしがねについて

- 長辺を材にしっかり当てる事で、その材の直角の線を引くことができる

この部分

